

平成21年度 国有林野事業の決算の概要

四国森林管理局

平成21年度の国有林野事業については、森林の公益的機能の維持増進、地球温暖化防止対策に積極的に取り組むとともに、財政の健全化に努めた結果、収入253.7億円に対し、支出は254.6億円となり、収支差は-0.9億円となったところである。

1 収入

- ① 自己収入は、林産物等収入が、素材販売単価の下落等により前年度より5.3億円減少したこと等により6.3億円減少
- ② 一般会計より受入は、森林環境保全整備事業等に要する経費の受入増等から、前年度より9.8億円増加
- ③ 借入金は、平成16年度以降、6年連続して新規借入金はゼロ

2 支出

- ① 給与関係経費は、職員数の適正化に努め、前年度より3.5億円減少
- ② 森林保全環境整備事業費は、地球温暖化防止等に向けて間伐等の森林整備を進めたことから前年度より13.6億円増加。林道災害復旧経費は、1.0億円減少

1 国有林野事業の発生収支表

(単位:億円)

収 入				支 出			
科 目	21年度	20年度	増(△)減	科 目	21年度	20年度	増(△)減
自 己 収 入	16.1	21.9	△ 5.8	給 与 関 係 経 費	51.5	55.0	△ 3.5
業 務 収 入 (林産物収入等)	14.4	19.7	△ 5.3	事業経費 (生産・販売等)	9.0	8.0	1.0
林 野 等 売 払 代	0.2	0.6	△ 0.4	森林環境保全整備事業費 森林居住環境整備事業費 (育林費)	54.1	49.0	5.1
雑 収 入	1.5	1.6	△ 0.1	森林環境保全整備事業費 森林居住環境整備事業費 (林道費)	15.7	7.2	8.5
一 般 会 計 より 受 入 (国有林)	112.1	98.7	13.4	林 道 災 害 復 旧 経 費	3.6	4.6	△ 1.0
一 般 会 計 より 受 入 (治山)	52.6	56.2	△ 3.6	治 山 事 業	43.6	45.6	△ 2.0
地方公共団体工事費負担金収入 (治山)	4.8	4.9	△ 0.1	市 町 村 交 付 金	2.0	2.0	0.0
前 年 度 余 剰 金 受 入	0.0	0.0	0.0	その他の経費	0.7	0.7	0.0
借 入 金 (借 換)	68.1	63.9	4.2	消 費 税	0.4	0.6	△ 0.2
				償 還 金	68.2	63.9	4.3
				支 払 利 子	5.8	6.8	△ 1.0
合 計	253.7	245.6	8.1	合 計	254.6	243.4	11.2

収 支 差	△ 0.9	2.2	△ 3.1
-------	-------	-----	-------

- (注) 1. 本表は、当年度に決算上発生した収入額及び支出額を計上している。
 2. 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。
 3. 借入金・・・新規借入金 0 借換 68.1 (億円)

2 損益計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:億円)

費用				収益			
科目	21年度	20年度	増(△)減	科目	21年度	20年度	増(△)減
経営費	28.9	36.6	△ 7.7	売上高	15.3	21.2	△ 5.9
治山事業費	57.4	61.0	△ 3.6	林野等売払収入	0.2	0.6	△ 0.4
一般管理費及販売費	9.4	9.6	△ 0.2	財産貸付料等収入	0.6	0.6	0.0
減価償却費	18.4	19.1	△ 0.7	一般会計より受入	74.8	78.3	△ 3.5
支払利子	4.2	4.9	△ 0.7	森林保全経費等財源受入	17.3	16.8	0.5
資産除却損	0.3	1.0	△ 0.7	治山事業費財源受入	52.5	56.1	△ 3.6
雑損	2.3	2.0	0.3	利子財源受入	5.0	5.4	△ 0.4
				地方公共団体工事費負担金収入	4.8	4.9	△ 0.1
				雑収入	0.9	1.0	△ 0.1
				前年度剰余金受入	0.0	0.0	0.0
				雑益	0.0	0.0	0.0
小計	120.9	134.2	△ 13.3	小計	96.6	106.6	△ 10.0
本年度利益				本年度損失	24.3	27.6	△ 3.3
合計	120.9	134.2	△ 13.3	合計	120.9	134.2	△ 13.3

- 「経営費」は、販売された立木及び製品(丸太)に対する立木原価、製品の生産費用、林道の維持管理費用等である。
- 「治山事業費」は、直轄治山事業に従事した職員の人件費等である。
- 「減価償却費」は、林道、建物等の償却資産の減価償却額(当年度に費用化された額)である。
- 「資産除却損」は、立木の滅失、土地の売却等による固定資産の帳簿価格の減少額である。
- 「売上高」は、林産物の販売契約額等である。(販売数量 立木 約3千m³増の10千m³、製品 約16千m³減の156千m³)
- 「林野等売払収入」は、林野、土地売払代等である。
- 「雑収入」は、利子収入、土地及び宿舍貸付料等である。
- 「一般会計より受入」は、保安林等の保全管理及び公益林の適切な管理等に要した経費の財源に当てるため、一般会計より受け入れた額である。
- 「治山事業費財源受入」は、直轄治山事業を実施するために必要な人件費等の財源として一般会計より受け入れた額である。
- 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。

3 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位:億円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
科 目	21年度	20年度	増(△)減	科 目	21年度	20年度	増(△)減
流 動 資 産	1.2	1.3	△ 0.1	負 債	413.0	405.4	7.6
未収金・延納金等	0.7	0.6	0.1	未 払 金 等	110.2	97.8	12.4
製 品 ・ 苗 木 等	0.4	0.7	△ 0.3	借 入 金	302.8	307.6	△ 4.8
固 定 資 産	3,240.7	3,172.8	67.9	資 本	3,658.5	3,568.5	90.0
土 地	147.8	147.9	△ 0.1	固 有 資 本	10.1	10.1	0.0
立 木 竹	2,974.0	2,912.8	61.2	資 本 剰 余 金	3,648.3	3,558.4	89.9
建物・工作物・車両等	1,300.0	1,275.2	24.8	中 間 勘 定	46.1	73.7	△ 27.6
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,181.2	△ 1,163.1	△ 18.1	前 期 損 益	46.1	73.7	△ 27.6
中 間 勘 定	851.4	845.9	5.5				
他 局	851.4	845.9	5.5				
本 年 度 損 失	24.3	27.6	△ 3.3				
合 計	4,117.6	4,047.6	70.0	合 計	4,117.6	4,047.6	70.0

1. 債務残高 376億円 (長期借入金 303億円+未払金等の中に含む短期借入金 73億円)
2. 「減価償却累計額」は、償却資産の価額から一括控除する減価償却費の累計額である。
3. 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。